



“讃” 平和を讃えて

広島交響楽団

第400回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 400th Subscription Concert

指揮
下野竜也
Conductor
Tatsuya Shimono

ピアノ
横山幸雄
Piano
Yukio Yokoyama

©アールアンフィニ

2021.1.28 (木)

18:45開演 [17:45開場]

Thu Jan 28, 2021 Start 18:45 [Open 17:45]

2020年5月24日に予定しておりました
「第400回定期演奏会」を曲目、出演者を
変更して延期開催いたします。

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)

S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広警事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/会員先行発売12月23日(水)(9:00~広警事務局のみ)一般販売12月28日(月)

コダーイ(下野竜也編曲): ミゼレーレ

Kodály(arr. Tatsuya Shimono): Miserere

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番ハ短調作品18

Rachmaninoff: Piano Concerto No.2 in C minor Op.18

ドヴォルザーク: 交響曲第9番ホ短調作品95「新世界より」

Dvořák: Symphony No.9 in E minor Op.95 "From the New World"

※当初予定のプログラムから曲目、出演者が変更となっております。

コンサートマスター: 佐久間聡一

Concertmaster: Soichi Sakuma

プレイガイド

ローソンチケット(Lコード: 62788)・チケットぴあ(Pコード: 191-415)・広警事務局

主催 | 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 |



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

プレミアム協賛 | youme

後援 | 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※当公演では一部の席を除いて全席販売いたします。

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。

広警公式ホームページ▶



beyond
2020

お問い合わせ | 広警事務局 TEL:082-532-3080
HP: <http://hirokyo.or.jp>

当初2020年5月24日に予定していた400回記念定期も延期という判断になりました。2年前からの計画で、座付きの指揮者全員で出演しガラコンサート的なものでお祝いしよう、私の方から提案しました。ロビーには、これまでの広響の歴史や広響定期の貴重な記録写真などを掲示し、先輩方の功績を称え、会場が祝祭ムードになればと思っていました。地元エリザベト音大合唱団やひろしまオペラルネッサンス合唱団との共演も欠かせない内容でした。そして、この内容は2021年4月のシーズン開幕の定期演奏会で演目をリニューアルして行うことと致しました。そこでこの度の延期公演では、出演予定だった横山幸雄さんにはそのままご出演いただき、お得意のラフマニノフをお願いしました。こういう時に相応しい曲は?と考えたとき、明日へ向かうという気持ちと故郷を愛するという気持ちにぴったりの「新世界より」を選びました。こういう時だからこそ、向き合うレパートリーだと思います。



[指揮] 下野 竜也 Conductor / Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)。

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内では、定期的にNHK交響楽団定期公演に招かれる他、国内主要オーケストラに客演し、コンサート、放送などに登場している。また、国外ではコンクール優勝後、ローマサンタチェチーリア管、ミラノ・ヴェルディ響、チェコフィル、プラハフィル、シュツットガルト放送響、南ドイツ交響楽団、オーストリア室内管、ボルドー・アテキヌ管、ロワール管、コートダジュール・カンヌ管、ストラスブル管、クラコフフィル、シンフォニア・ヴァルソビア、バルセロナ響などを指揮。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任。

2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

NHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



[ピアノ] 横山 幸雄 Piano / Yukio Yokoyama

1990年ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数多の賞を受賞。ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与。自ら企画する「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、2019年には3日間でショパンの全作品を演奏しその記録をDVDとしてリリース。継続的に開催される企画は常に高く評価される。2020年ベートーヴェン生誕 250周年に向けてのシリーズ「ベートーヴェン・プラス」や「4大ピアノ協奏曲」の一手演奏といった、継続的に開催される意欲的な企画も高く評価され、不動の地位を確立する。

パリにてラヴェルの全ピアノ独奏曲演奏会、ポーランドリサイタルツアーなど海外にも活躍の場を広げる。これまでリリースされたCDは、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際F.リスト賞レコードグランプリ最優秀賞等栄えある賞を受賞。また、東京と京都にレストランをオープンし、音楽と旬の食をテーマにしたコンサートや、インターネットによるライブ配信「横山幸雄マイハートピアノライブ」を定期的に開催するなど、新しい音楽の楽しみ方を提供する音楽プロデューサーとしても手腕を発揮している。

エリザベト音楽大学客員教授、名古屋芸術大学特別客員教授、日本パデレフスキ協会会長。

そして2020年12月、史上初ベートーヴェン・ピアノソナタ全32曲連続演奏の偉業を成し遂げ、喝采を浴びた。2021年はデビュー30周年の節目を迎える。

オフィシャルサイト <http://yokoyamayukio.net/>

広響の新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき平熱と比べ高い発熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。



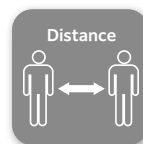
会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内での不要な会話はお控えいただき、演奏後の「ブラボー」などのお声がけもおやめください。



入場時、トイレなどは間隔を空けてお並びいただくようお願いいたします。